

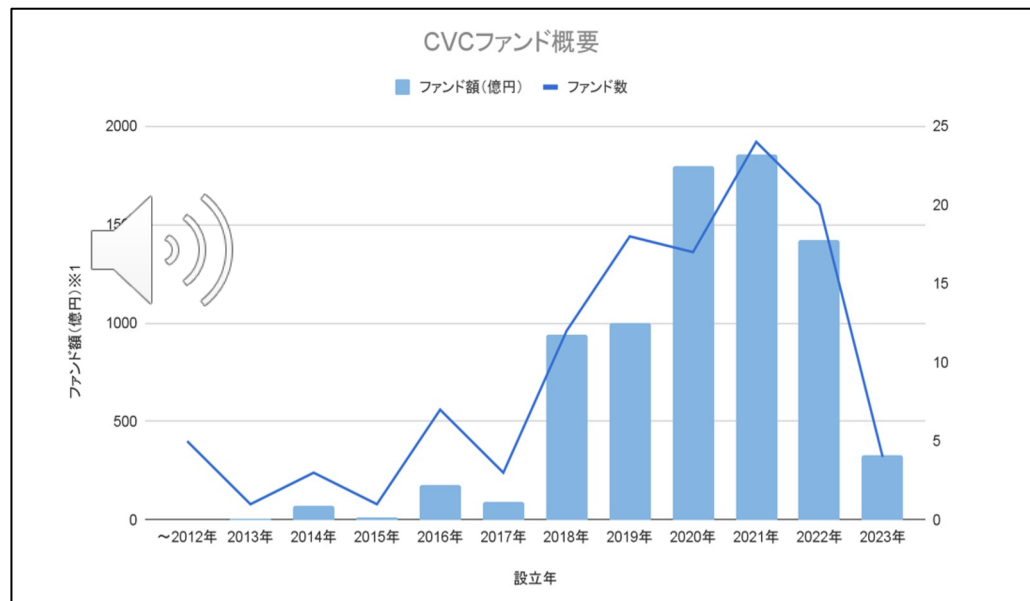
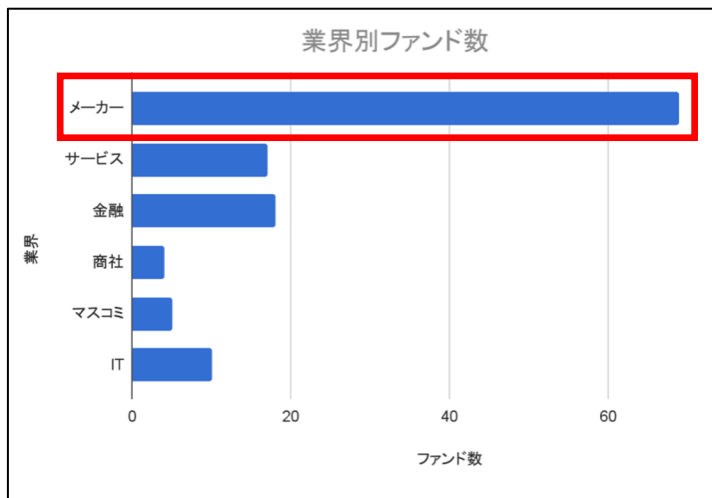
**こんなに違う日米の技術トレンド
米では既に2020年に「生成AI」が登場**



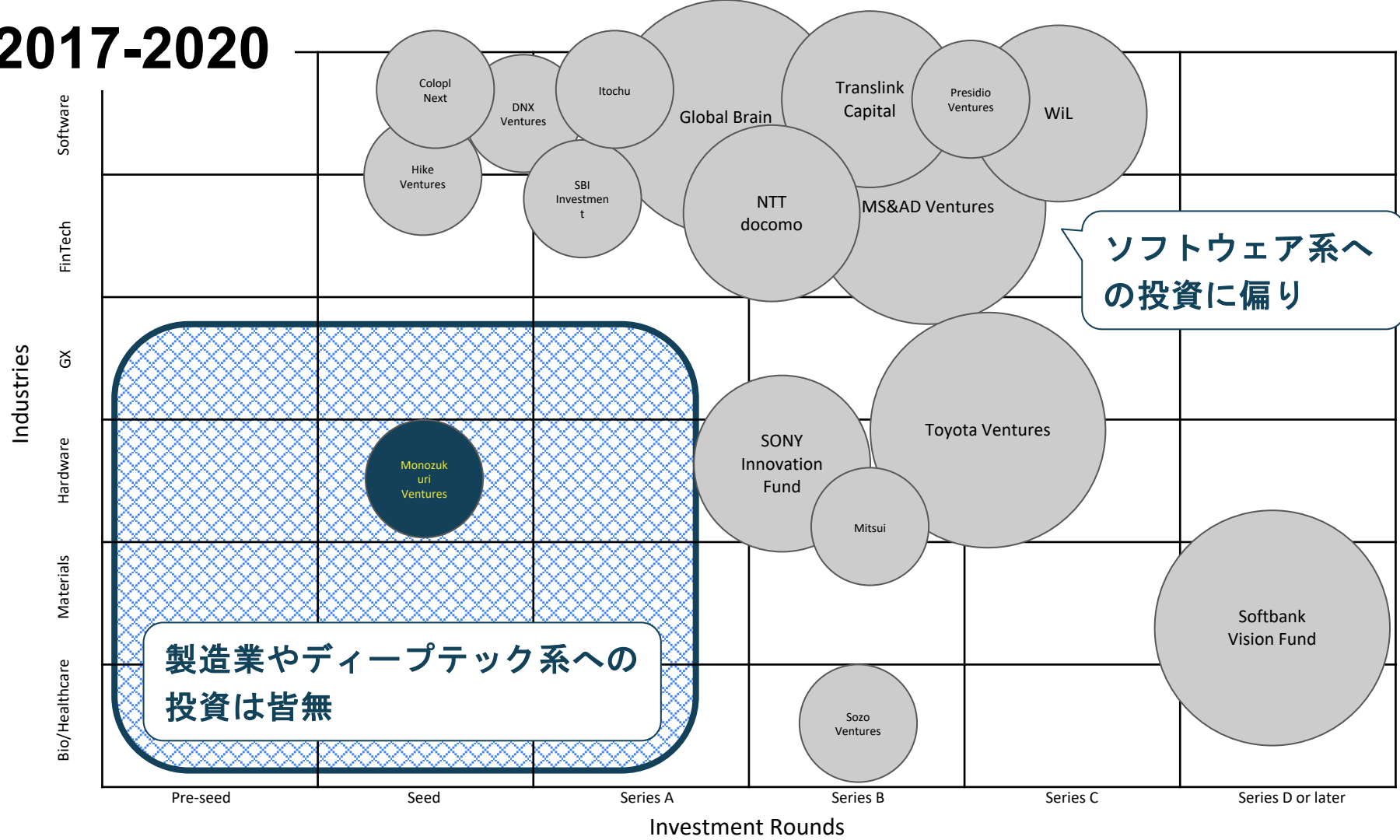
**世界のディープテックへの扉
Deep Tech Forumが1月に北米で始動**

日本のCVC事情

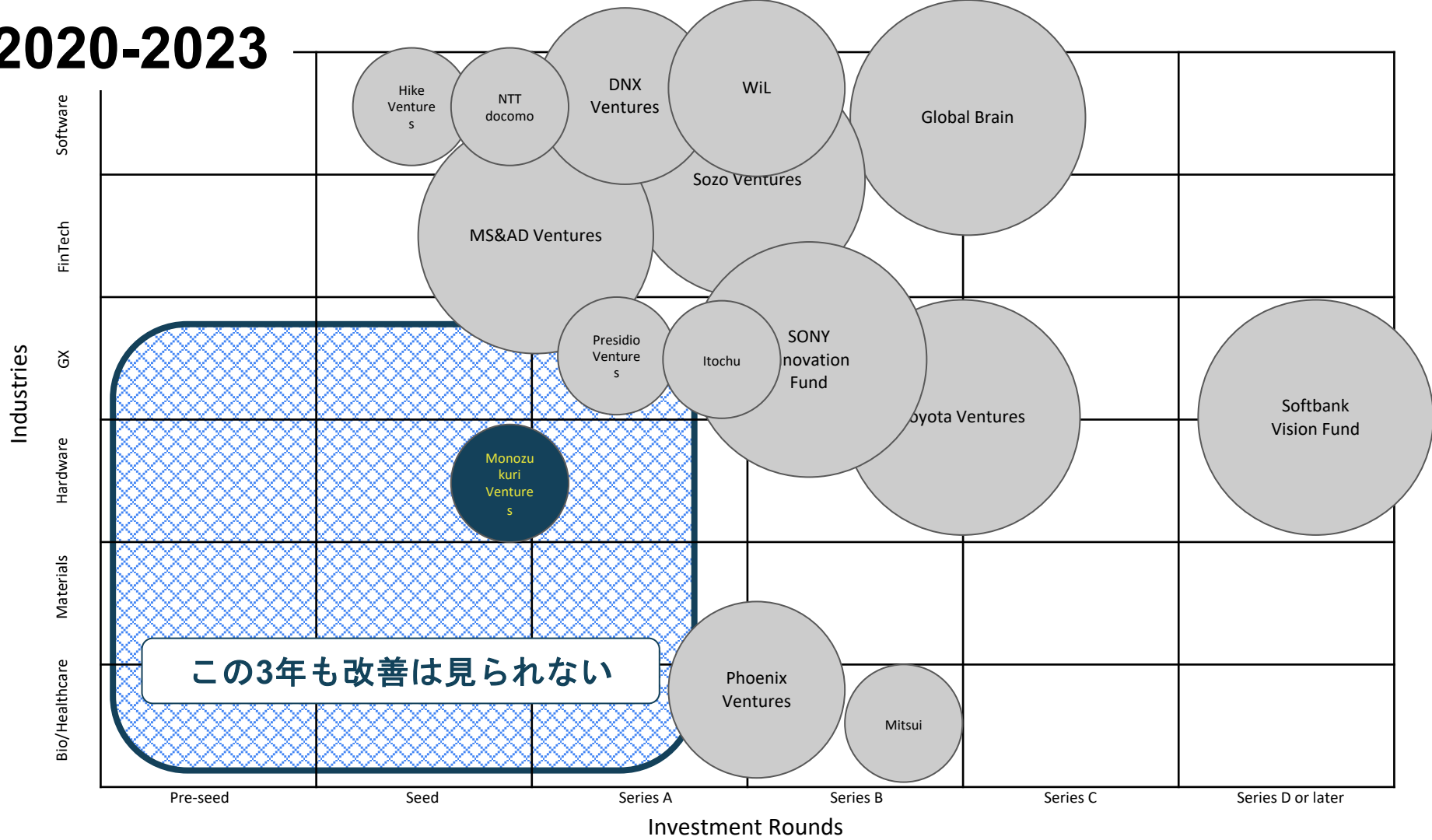
製造業はCVCを設立しオープン・イノベーションの構えだが...



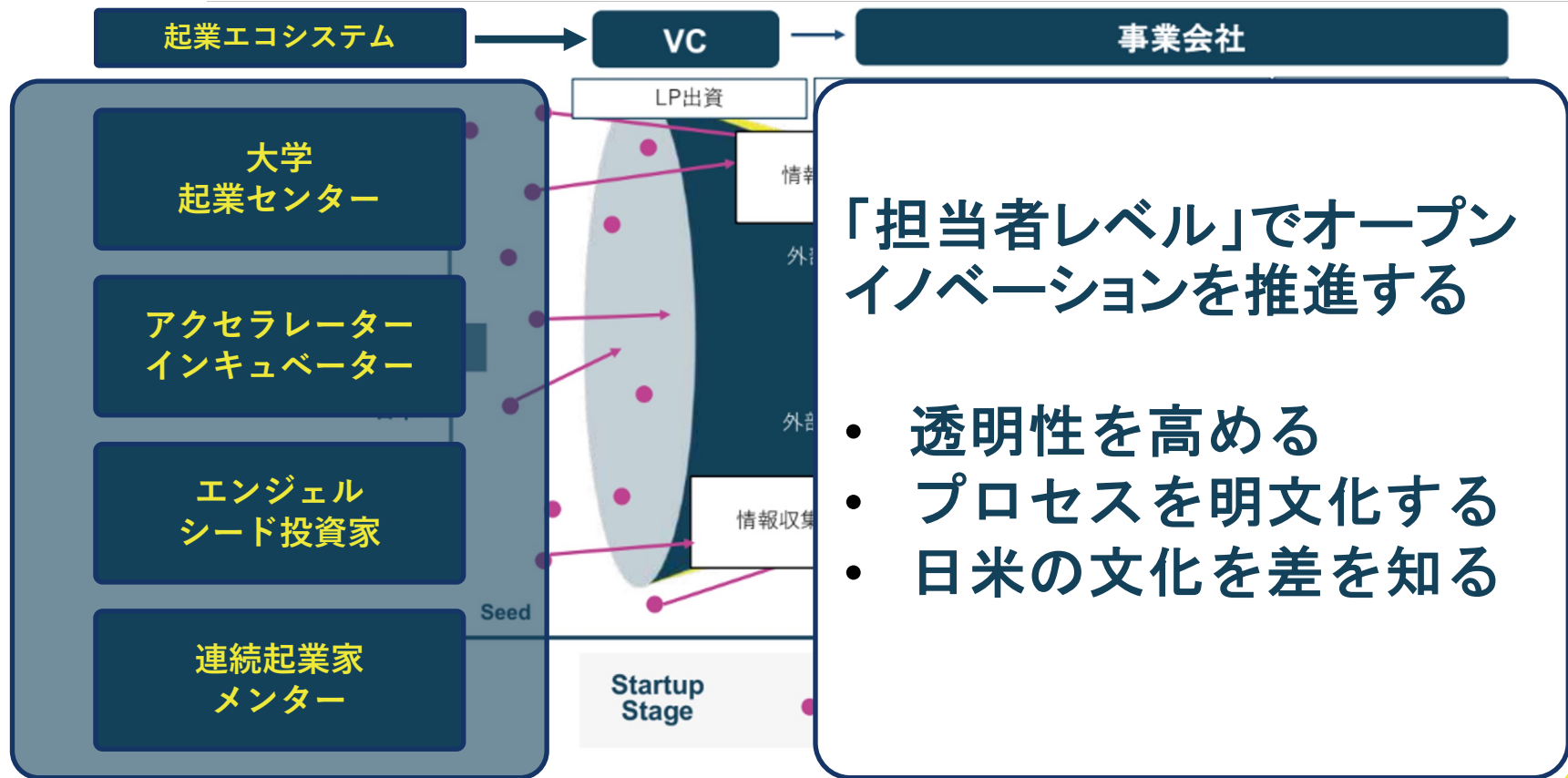
2017-2020



2020-2023



担当者レベルで出来ることは、すぐに実践



シリコンバレーでの課題は20年間、変化なし



スタンフォード大学 櫛田健児氏が指摘する シリコンバレーの日本企業が陥る、 10のワーストプラクティス

- 1) とりあえず事業所を開設して、駐在員を送り込む
- 2) ふわっとした「情報集め」や「戦略パートナー探し」をミッションとする
- 3) シリコンバレーでは日本企業は「売り込む側」であることを理解していない
- 4) 決裁権・リソースがないため、スタートアップと具体的な商談ができない
- 5) 本社にばかり目が行き、上層部の表敬訪問の対応に追われる
- 6) 本社は未来を先取りした情報を受け止められないため、周回遅れの情報を送る
- 7) シリコンバレー事業所を推進した本社の人間が異動する
- 8) 左遷した人材、または経験の足りない若すぎる人材を送り込む
- 9) 3年任期で交代になるので、長期的な仕事ができない
- 10) バブルのまったただ中にやってきて、バブルがはじけた後に撤退

※櫛田氏のインタビューをもとに、編集部にてまとめ



スタンフォード大学 櫛田健児氏が指摘する 続・シリコンバレーの日本企業が陥る、 10のワーストプラクティス

- 1) 日本流のアピール方法から抜け出せない
- 2) 社内のおセロゲームができない
- 3) 社内政治によりシリコンバレーへの取り組みが180度変わる
- 4) 現地採用の経営陣をうまく評価できない
- 5) 本社の人事制度を無理にシリコンバレーに当てはめる
- 6) 「中小企業」と「スタートアップ」の違いを理解していない
- 7) M&A後の戦略がない
- 8) 「うちで作れますよ症候群」でスタートアップを過剰否定
- 9) トップが新しい技術、ビジネスを評価できない
- 10) 既存のプロセスに縛られれば、いずれ会社は潰れる

※櫛田氏のインタビューをもとに、編集部にてまとめ

この20年以上、状況に変化がない。うまくいったところも組織としての知識になっていないので担当者が代わるとリセットされる

シリコンバレーでの課題は20年間、変化なし



スタンフォード大学 櫛田健児氏が指摘する シリコンバレーの日本企業が陥る、 10のワーストプラクティス

- 1) とりあえず事業所を開設して、駐在員を送り込む
- 2) ふわっとした「情報集め」や「戦略パートナー探し」をミッションとする
- 3) シリコンバレーでは日本企業は「売り込む側」であることを理解していない
- 4) 決裁権・リソースがないため、スタートアップと具体的な商談ができない
- 5) 本社にばかり目が行き、上層部の表敬訪問の対応に追われる
- 6) 本社は未来を先取りした情報を受け止められないため、周回遅れの情報を送る
- 7) シリコンバレー事業所を推進した本社の人間が異動する
- 8) 左遷した人材、または経験の足りない若すぎる人材を送り込む
- 9) 3年任期で交代になるので、長期的な仕事ができない
- 10) バブルのまったただ中にやってきて、バブルがはじけた後に撤退

※櫛田氏のインタビューをもとに、編集部にてまとめ



スタンフォード大学 櫛田健児氏が指摘する 続・シリコンバレーの日本企業が陥る、 10のワーストプラクティス

- 1) 日本流のアピール方法から抜け出せない
- 2) 社内のおセロゲームができない
- 3) 社内政治によりシリコンバレーへの取り組みが180度変わる
- 4) 現地採用の経営陣をうまく評価できない
- 5) 本社の人事制度を無理にシリコンバレーに当てはめる
- 6) 「中小企業」と「スタートアップ」の違いを理解していない
- 7) M&A後の戦略がない
- 8) 「うちで作れますよ症候群」でスタートアップを過剰否定
- 9) トップが新しい技術、ビジネスを評価できない
- 10) 既存のプロセスに縛られれば、いずれ会社は潰れる

※櫛田氏のインタビューをもとに、編集部にてまとめ

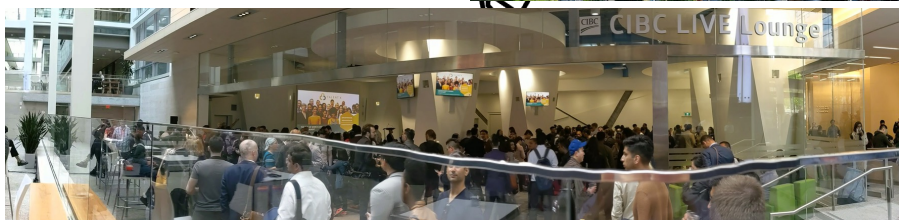
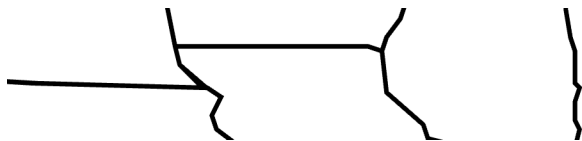
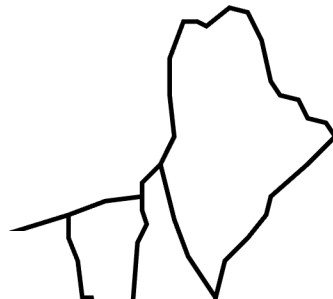
20年かけて出来ていないことが、今から数年で出来るわけがない。
特に日本の会社制度に起因した課題は一朝一夕に変わるはずがない
→ アプローチを変える必要がある

Deep Tech Forum 2024



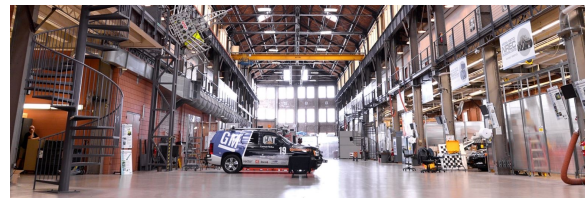
カナダ最大のディープテックファンド（2億ドル）の
リード・パートナーThomas Park氏による講演
「製造業がディープテック・スタートアップに貢献
できるポイント（仮）」

トロント大学とイノベーション・ハブ「MaRS」訪問





ROBOTICS FACTORY

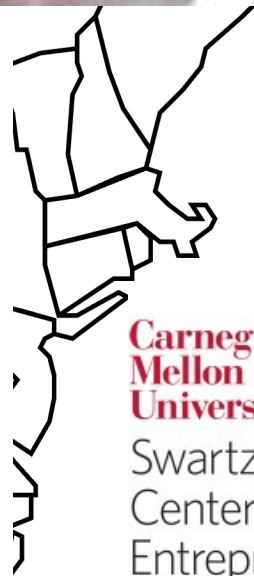


全米一のロボット・スタートアップ集積地に新設されたロボット専門アクセラレーターRobotics Factory所長Kevin Dowling氏による講演

「世界をリードするピッツバーグのロボット・スタートアップ・エコシステム（仮）」

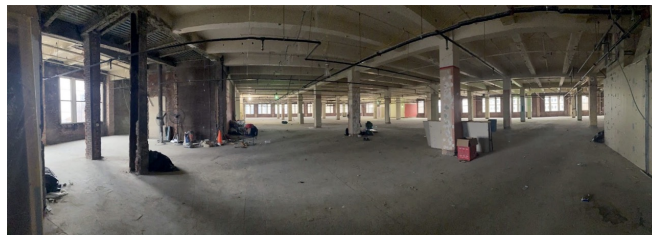
Hardware Cupピッチコンテストのファウンダー（現在はVCのパートナー）Ilana Diamond氏の登壇も決定

1/16午後にカーネギーメロン大学と起業センター訪問



Carnegie
Mellon
University

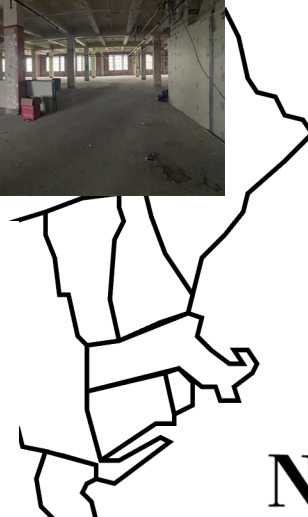
Swartz
Center for
Entrepreneurship



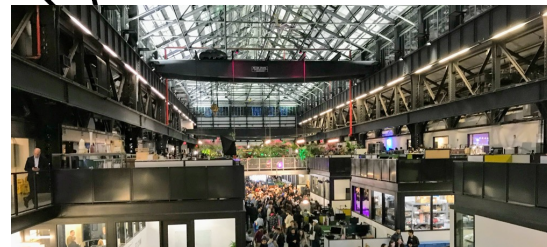
世界初のハードウェア・アクセラレーターHAXの所長
Duncan Turner氏による講演

「中国から東海岸へ: 気候変動スタートアップに注力
するSOSVが世界初のハードウェア・アクセラレータ
ーHAXの本拠地を東海岸に移した本当の理由 (仮)」

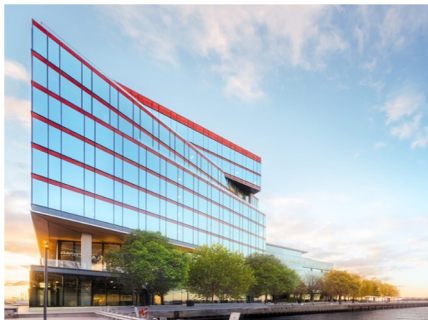
世界最大級のハードウェア施設Newlab訪問と、
BMW MINIが作った都市テックのUrban-Xを訪問



NEWLAB



- カナダ最大のテクノロジーハブで、北米でも最大級のこの地域は急速に成長
- トロント・ウォーターloo一回廊には新興企業5200社を含む15000社以上のテクノロジー企業と約250,000人のテクノロジー労働者が拠点を置く
- ゴーグルはトロントに40万平方フィートのビルを建設する計画を発表



U TEST
UNIVERSITY OF TORONTO
EARLY-STAGE TECHNOLOGY

DIAMOND
online

新着 特集 連載 書籍 週刊ダイヤ

北上するシリコンバレー、IT大手がトロントに殺到

米企業による知財吸い上げやプライバシー侵害に懸念抱く地元住民も

The Wall Street Journal

経済・政治 The Wall Street Journal発

2019.8.23 15:50 有料会員限定



【トロント】シリコンバレーがカナダ最大の都市トロントを侵略しつつある。米半導体大手インテルは同市にグラフィックス半導体の研究所を開設する計画を発表した。米ライドシェア大手ウーバー・テクノロジーはエンジニアリング拠点を開設する予定だ。グーグル親会社のアルファベットは、オンタリオ湖の湖畔に「スマートシティ」を建設するプロジェクトの一環で、同社のトロント拠点を新たに設けることを提案。マイクロソフトはカナダ国内の従業員を20%以上増やすと発表した。シリコンバレー銀行（本社・カリフォルニア州サンタクララ）は3月、業務増加を受けてトロントにオフィスを置いた。

トロント訪問先

- トロント大学とAIテクノロジー・イノベーション・ハブ「MaRS」訪問
- Deep Tech Forum Toronto 2024

<https://deep-tech-forum-toronto-2024.peatix.com>

カーネギーメロン大学



- 世界トップクラスのAIやロボット技術の学術を学べる大学として有名
- ソニーグループと「調理・デリバリー」をテーマにAIやロボットの研究開発

ピッツバーグ訪問先

- カーネギーメロン大学とSwartz起業センター訪問
- Deep Tech Summit Pittsburgh 2024
<https://deep-tech-forum-pittsburgh-2024.peatix.com/>



CSL corporate startup lab
A CMU Swartz Center Initiative



Corporate Startup Lab CSL Fellows

The Carnegie Mellon Corporate Startup Lab is a Swartz Center - Tepper interdisciplinary group focused on researching and advancing the mission of transformative innovation within corporations. CSL Fellows pairs interdisciplinary graduate students with corporate partners for a paid fellowship that provides the students with a dynamic Corporate Innovation experience.



Fellowship timing: September - December;
January - May

Corporate Startup Lab Project Course

For companies exploring transformational ideas, the Corporate Startup Lab Sponsored Project Course pairs CMU interdisciplinary graduate student teams with companies to apply startup and venture methodologies for pursuing new markets, new technologies, and new business models.



Course timing: January — May



corporate startup lab
A CMU Swartz Center Initiative



Jim Jen, Director of Corporate Startup Lab,
Swartz Center for Entrepreneurship,
Carnegie Mellon Univ

前職は、Innovation WorksのCOO、VCのMD
、アクセラレーターAlphaLabの所長、
Stanford MBA/MA/BA

訪問では、大企業のオープンイノベーション部門の教育プログラムや、大学発ディープテックのスピンアウトの実態と、大企業が連携する上で気をつけた方がよいことなどを聞く予定

2社をCTO創業したディープテック教授を招待



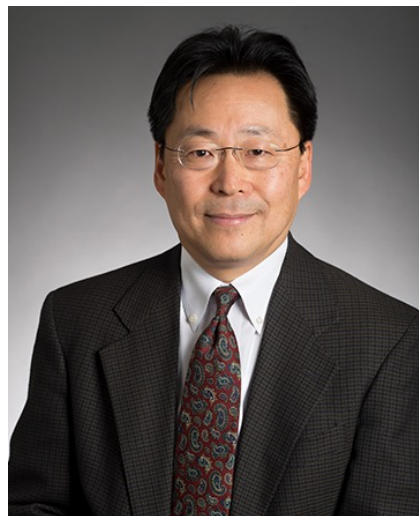
Carmel Majidi, Professor, Mechanical Engineering, Carnegie Mellon Univ

自分の研究室から2社のディープテック・スタートアップをCTOとして共同創業（液体金属でArieca社、静電クラッチでESTAT社）。共同創業者兼CEOは、指導した研究者/学生



CSLのセッションにお呼びし、大学発のディープテック起業の勘どころや陥りやすいポイント、オープンイノベーションに期待することなどを伺います。

大企業と連携する日本人教授のツアーを実施



公開されている嶋田教授のプロジェクトの一つ。YKK APと高機能窓の設置ロボットの開発

Kenji Shimada, Professor, Mechanical Engineering, Carnegie Mellon Univ

製品設計、分析、製造のためのコンピュータモデリングとシミュレーション分野で活動しています。彼の研究は、幾何学的情報の生成と操作に重点を置いており、最近では物理ベースのメッシュ生成や非多様体幾何学モデリングなどに取り組んでいます。特に、自然界の効率的なパッキングパターンに触発された新しいメッシング手法「バブルメッシュ」を開発し、これは自動車クラッシュシミュレーションやコンピュータグラフィックスなどに応用されています。



HAXが入るビル



HAXとは？

- SOSV Investmentsが展開するハードウェア系スタートアップ向けのアクセラプログラム
- 世界初のハードウェア専門アクセラレーター。中国・深圳が拠点
- 2021年9月に5000万ドル（約55億円）規模の予算を投じてニューヨーク郊外のニューアークに新たな拠点を設置

ニューヨーク訪問先

- NewlabとUrban-X by BMW Mini
- Deep Tech Summit New York 2024
<https://deep-tech-forum-nyc-2024.peatix.com/>



Newlabとは？

ブルックリンの約25,000平米の広大な造船施設をリノベーションし、ハードウェアインキュベーター



U R B A N - X



Urban-Xは自動車会社MINI（BMW）が運営する、都市問題の解決にフォーカスしたアクセラレーター。ブルックリンの約25,000平米の広大な造船施設をリノベーションしたインキュベーション施設Newlabの一部を使って運営されている



Tristan Bel, Platform Director, Urban-X

前職は、ハードウェア・アクセラレーター
NYDesigns所長。フランス出身

One more thing

当社運営の日本人向け勉強会・交流会

J-Bridgeセミナー「企業文化が変わるのを待たずに“担当者レベル”でオープンイノベーションを推進する方法」をベースにした実践編。出張者と駐在員が対象（無料）

1月18日に実施

交流会・懇親会も
実施予定（無料）

お申し込みはジェトロページより

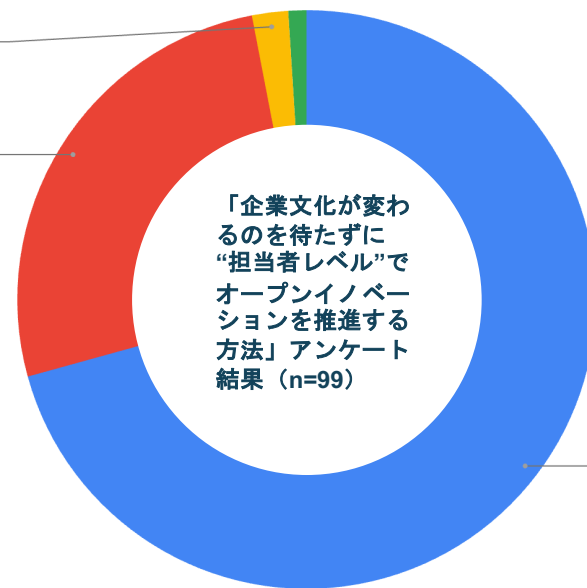
J-Bridge オープンイノベーション推進ワークショップ in NYC
（日系企業のご担当者向け）—実践！企業文化が変わるのを待
たずに“担当者レベル”でオープンイノベーションを推進する—

3. あまり役...

2.0%

2. まあ役に...

26.3%



1. 役に立った
70.7%

有償プログラム

- 北米3都市 視察ツアー
- イベント・スポンサー
- スタートアップ招待スポンサー
- オープンイノベーション支援

京都のイベントは3月7日～8日の2日間



英語によるピッチコンテスト
Monozukuri Hardware Cup
など複数の企画が進行中

オープンイノベーション支援については
JETRO講演のレポートをご覧ください

<https://syncworld.net/nseki/archives/2023/12/how-to-start-open-innovation.html>

(11月15日放映。現在はオンデマンド配信中です)